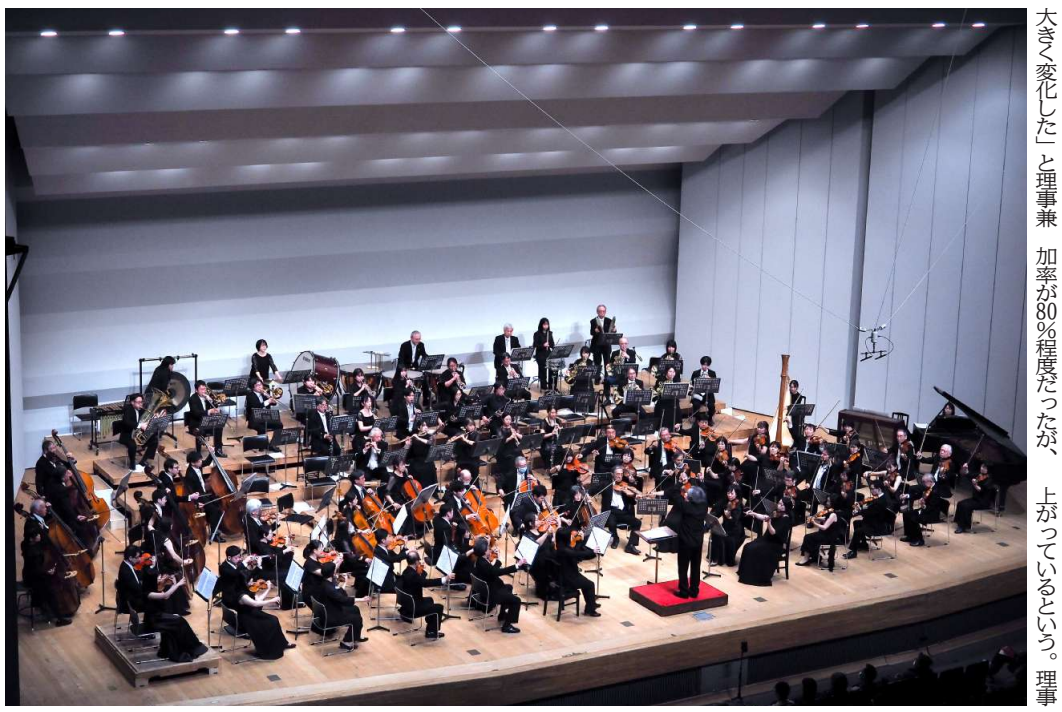
時を超え 届け 感謝の響き

栃響50周年記念 待望の演奏会へ

1970（昭和45）年1月に誕生した栃木県交響楽団（栃響）は、設立から55年を迎えた。2020年6月に創立50周年記念公演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により延期となり、ようやく来月8日に5年越しとなる記念公演が開催される運びとなった。これまで本県の音楽文化発展に大きく貢献してきた栃響の歩みを振り返るとともに、創立50周年記念公演に向けた思い、未来への展望を聞いた。

（企画・制作　下野新聞社ビジネス局、協力　栃木県交響楽団）



2025年2月に宇都宮市文化会館大ホールで開催された第116回定期演奏会（栃木県交響楽団提供）

コロナで5年延期　来月8日、宇都宮

「コロナ禍を経て、団員たちの演奏に対する姿勢が大きく変化した」と理事兼事務局長を務める岩本克行さんは話す。以前は練習参加率が80％程度だったが、現在はほぼ全員が参加しており、演奏のレベルも年々上がっているという。理事でインスペクターの岩原毅さんは「目指してきた『50周年』として公演を開催したいという気持ちが強く、ここ数年はより力を入れて練習に励んできた。演奏ができない時期を経験したことで、演奏できる喜びと感謝の気持ちを再認識できた。きっと5年前の演奏会よりも、今、この気持ちでできる演奏会の方がずっと良いものになると思う」と自信をにじませる。

創立50周年記念公演では、これまでの感謝を込めて、最も親しまれている交響曲の一つであるドヴォルザーク交響曲第九番ホ短調「新世界より」を演奏。また、非常に難度の高いストラヴィンスキーバレエ音楽「春の祭典」に挑戦し、50年間の成果を披露する。

地域密着の活動

現在の栃響は、会社員や公務員、教員、主婦などのアマチュアの楽団員140人余りを誇り、全国に名を知られるアマチュアオーケストラに成長した。宇都宮市を中心とした定期演奏会と県内各地への巡回演奏会を両輪として、地域密着を掲げる栃響の礎が築かれた。また、女性団員の割合は、当初の30％から50％まで増加。さらに、近年、若い世代の入団も多く、男女比・年齢層ともにバランスの良い楽団員構成が、安定した運営につながっている。

理事長で指揮者の水越久夫さんは「将来の担い手となるジュニアオーケストラやユースオーケストラの育成が課題であり、栃響としての取り組みも求められている」と今後の展望を語る。

♪音楽と共に半世紀…■

県民の音楽文化向上に寄与

1969（昭和44）年、後の宇都宮市長で当時県議の増山道保氏が、県内音楽関係者に県レベルのオーケストラ設立を呼び掛けた。当時、宇都宮交響楽団と、宇都宮短大音楽科のオーケストラ、宇都宮大学管弦楽団などがそれぞれに活動していたが、増山氏の呼び掛けに応じて音楽関係者が尽力。これらの団体を母体に70（昭和45）年1月に、栃木県交響楽団が誕生した。

初代会長には宇都宮短大学長の須賀友正氏、理事長に岩本政蔵氏、指揮者に石井信夫氏と田渕進氏を迎え、楽団員67人で発足した。2代目会長には岩本政蔵氏、続いて須賀淳氏、吉谷宗夫氏、須賀英之氏につながってきた。

栃響に転機が訪れたのは74（昭和49）年7月、デンマークのコペンハーゲンで行われる世界青少年音楽祭に出演するため、派遣団員80人で初の海外公演に臨んだときだ。音楽祭では石井氏と田渕氏の指揮で演奏し、最優秀賞を獲得。

しかし、大きな成果を上げたことで楽団運営の方向性の違いから楽団員が減少。アマチュアオーケストラゆえに転勤や結婚などで楽団員がなかなか定着しないという苦労も重ねたが、楽団員、関係者の努力でそれらの課題を乗り越え、現在は140人規模の団体となっている。

89年8月には、地方のアマチュアオーケストラとして初めて、「クラシックコンサートの殿堂」といわれる東京・赤坂のサントリーホールでの公演を行った。

100回を超える定期公演はもとより、中国浙江省、サントリーホールなどでの特別公演、県民の日公演、県内全域での音楽文化向上を期した巡回コンサート、県議会議事堂ホールコンサートなど、アマオケとしては異例の数となる通算3822回の公演を実施。また、日頃コンサートに足を運びにくい子ども連れにも気楽に音楽を楽しんでもらおうと企画した親と子のための「ファミリーコンサート」等も開催し、好評を博している。

今後も県民の音楽文化向上に向けて、地域に根差したオーケストラとしての活躍が期待されている。

栃木県交響楽団会長　須賀　英之氏

地域の人々との絆 実感

栃木県交響楽団は、1970年、音楽を愛する県民の熱い思いにより結成され、栃木県の芸術・文化の向上に寄与するという、崇高な理念と使命に向かって精力的に活動を展開して参りました。このたび、創立50周年記念事業を開催できますことは、長年にわたり支えていただいてきた県民の皆様、そして、栃木県をはじめとする関係者の方々からの温かい御支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

これまで、栃響は数多くの演奏機会を与えていただき、とりわけ、東京と欧州・中国における演奏会は、栃響の歴史と成長にとってかけがえのない出来事となりました。また、創立当初より行ってきた県内市町への巡回演奏会は、地域における人々の絆の大切さを実感する機会となり、〝栃響らしさ〟の醸成につながっております。

記念演奏会におきましては、郷土栃木県への愛着と誇りをクラシックのメロディーに乗せてお届けさせていただきます。皆様の御来場を心よりお待ちしております。

栃木県交響楽団演奏会の歩み

- 1970年1月　栃木県からの要請を受け宇都宮、足利、宇都宮大、宇都宮短大の各交響楽団からメンバーを募り「栃木県交響楽団」が発足
- 12月　第1回定期演奏会（栃木会館）
- 1971年1月　第2回定期演奏会（足利市民会館）
- 3月　真岡市民体育館で「県民のつどい」巡回演奏会公演
- 1974年7月　1996年までに県内各地で69回の巡回演奏会公演
- 1980年6月　コペンハーゲン世界青少年音楽祭参加（デンマーク）
- 1985年11月　ファルコニアセンターで最優秀賞受賞
- 1989年8月　創立10周年記念第29回定期演奏会／ベートーヴェン第九
- 1992年8月　文部大臣より「地域文化功労賞」として表彰される
- 1994年1月　サントリーホール（東京）で「コンセール・マロニエ」公演＝写真
- 2月　サントリーホール（東京）「コンセール・マロニエⅡ」公演
- 1997年9月　中国浙江省（杭州市）特別演奏会公演（2公演）
- 1998年9月　栃木県議会議長の要請で栃木県議会議場コンサート公演、2025年までに31回の県議会議場や議事堂ホールで公演
- 2006年2月　音楽コンクール「コンセール・マロニエ21」の受賞者を迎え栃木県交響楽団特別演奏会（足利市民会館）公演、2024年までに県内各地で32回公演
- 2008年12月　サントリーホール（東京）で「コンセール・マロニエⅢ」公演
- 2012年11月　親と子のためのオーケストラ鑑賞講座「ファミリーコンサート」公演（宇都宮市文化会館）、2025年までに15回公演
- 2016年1月　栃木県楽友協会設立記念「ベートーヴェン第九演奏会」公演／管弦楽担当（栃木県総合文化センター）、2024年までに14回公演（内2回宇都宮市文化会館）
- 6月　クラシック入門講座として栃響チェンバーオーケストラ公演（宇都宮市文化会館小ホール）、2024年までに11回公演
- 2017年2月　第100回定期演奏会公演（昼夜2公演）
- 2019年7月　伊福部昭没後10周年記念／第101回定期演奏会公演（栃木県総合文化センター）
- 2020年6月　伊福部昭没後記念演奏会としてCDがリリースされる
- 2021年6月　第102回定期演奏会公演（那須野が原ハーモニーホール）
- 2023年12月　第109回定期演奏会（宇都宮市文化会館）（コロナ感染対策に対応した公演）
- 2024年11月　栃木県交響楽団創立50周年記念公演（栃木県総合文化センター）（コロナ後再開）
- 2025年2月　第13回楽友協会（第九演奏会）／管弦楽担当（栃木県総合文化センター）（コロナ後再開）
- 2025年6月　那須野が原ハーモニーホール開館30周年記念栃木県交響楽団特別演奏会公演（那須野が原ハーモニーホール）
- 第116回定期演奏会公演（宇都宮市文化会館大ホール）
- 栃木県交響楽団創立50周年記念公演（STAGE Ⅰ）第117回定期演奏会（宇都宮市文化会館）

創立50周年記念演奏会【STAGE-Ⅰ】

新世界より
ドヴォルザーク
交響曲第九番 ホ短調

春の祭典
ストラヴィンスキー
バレエ音楽

栃響

第117回 定期演奏会　第46回 宇都宮市民芸術祭

指揮　三原 明人

2025 6/8 日　14:00 開演　13:30 開場

宇都宮市文化会館 大ホール
宇都宮市明保野町7-66

全席自由
前売 一般 1,200円 小中高 600円
当日 一般 1,500円 小中高 800円

プレイガイド
■ 宇都宮市文化会館
TEL.028-634-6244（9:00～19:00休館日を除く）
■ 栃木県総合文化センター
TEL.028-643-1013（10:00～19:00）

主催　宇都宮市民芸術祭実行委員会　栃木県交響楽団
共催　宇都宮市文化協会
後援　栃木県教育委員会　宇都宮市民憲章推進協議会
㈱下野新聞社　㈱栃木リビング新聞社
㈱とちぎテレビ　NHK宇都宮放送局
宇都宮ケーブルテレビ㈱
㈱栃木放送　㈱エフエム栃木　タウン情報もんみや
宇都宮コミュニティFM ミヤラジ

栃響創立50周年記念演奏会情報

栃木県総合文化センター開館35周年
創立50周年記念演奏会【STAGE-Ⅱ】
第47回宇都宮市民芸術祭
第119回定期演奏会

2026 6/14 SUN.　14:00 開演　13:30 開場

栃木県総合文化センター
メインホール
宇都宮市本町1-8

指揮　末廣誠
メゾソプラノ　城守香
ソプラノ　鎌田亮子

マーラー
交響曲第2番ハ短調「復活」
ワーグナー
ニュルンベルクのマイスタージンガー第1幕への前奏曲

出演者
指揮 末廣誠 ／ メゾソプラノ 城守香 ／ ソプラノ 鎌田亮子
グローリアアンサンブル＆クワイア、鹿沼混声合唱団、
今市混声合唱団コール・かわせみ他
合唱指揮：片岡真理

お問合せ　栃木県交響楽団事務局 TEL.028-643-5288
〈お願い・お断り〉駐車場は台数に限りがあります。／就学前のお子様の入場はご遠慮ください。／開演後にお越しの際はロビーでお待ちいただく場合があります。／都合によりプログラム等が変更となる場合があります。